

キャラクター名 “総帥”エマ・ヴィットリード	プレイヤー名
---------------------------	--------

種族	ドレイクナイト	種族特徴	暗視、魔剣、飛行、竜化、光のプレス、弱点(魔法+2)		
生まれ	戦士	性別	女	年齢	14
冒険者Lv	12	経歴	才能を絶賛されたことがある		
経験点	2830		忘れられない恐怖を体験したことがある 高レベルの魔法をかけられたことがある		

技	12	能力値	A-F	成長	他修正	能力値	ボーナス	技能	Lv.	技能	Lv.
		器用度	5	11	2	30	5	ファイター	10	アルケミスト	3
体	15	敏捷度	4	3		19 + 2	3	プリースト/“羽翼の女神”ローラ	8	ライダー	6
		筋力	12	7		34	5	スカウト	9	ウォーリーダー	6
心	5	生命力	11	39		65	10	レンジャー	3	ミスティック	12
		知力	10	21		36	6	セージ	2		
		精神力	4	17		26	4	エンハンサー	5		

戦闘特技				言語			会話	読文
タフネス	2122	p		交易共通語		○	○	
トレジャーハント	2120	p		ドラゴン語		○		
ファストアクション	2123	p		ドレイク語		○	○	
影走り	2120	p		汎用蛮族語		○	○	
武器習熟A/スピア	1B31	p		魔動機文明語		○	○	
魔力撃	1B39	p		バジリスク語		○		
魔法拡大/数	1B39	p						
武器習熟S/スピア	1B31	p						
頑強	1B29	p						
超頑強	1B29	p						

練技/呪歌/騎芸/賦術	
スケイルレギンス	鉄壁の防陣Ⅰ
キャッツアイ	流麗なる俊陣Ⅰ
ビートルスキン	流麗なる俊陣Ⅱ:流水
オウルビジョン	鉄壁の防陣Ⅱ:堅体
スフィンクスノレッジ	流麗なる俊陣Ⅲ:浮身
HP強化	流麗なる俊陣Ⅳ:残影
高所攻撃	
チャージ	
遠隔指示	
人馬一体	
超高所攻撃	
パークメール	
クラッシュファング	
ヒールスプレー	

技能	基本	基本	基本	基本追加
	レベル	命中力	回避力	ダメージ
ファイター	10	15	13	15
グラブラー	0			
フェンサー	0			
シューター	0			

鎧と盾	必要	ランク	筋力	回避力	防護点
鎧	ドントレシアの堅忍甲冑+1		22		12
盾	グランドパートナー		18		4
その他補正(防具習熟/回避行動 etc)					
回避技能	ファイター	合計値	13	16	

武器	用法	必要筋力	命中修正	命中力	C値	追加ダメージ	威力	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
英雄の槍	1H両	33	-1	2d+ 14	10	19	53										
<small>魔法の武器(+1)新種の武器(炎/氷/水/土/風/雷)魔動機(回避系)オーガメイト(+3)元:コルピスカ/イグニスト加工</small>																	
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													
				2d+													

制限移動	通常移動	全力移動	回避	防護点	HP	魔法技能	Lv.	魔力	魔法技能	Lv.	魔力
3	23	69	2d+	13	16	神聖魔法	8	14			
魔物知識/弱点	先制力	生命抵抗	精神抵抗	MP							
2d+	12/8	2d+	12	80							

装備品	説明	装備品	説明
頭			
耳	聖印 “羽翼の女神”ローラを信仰している。		
顔			
首	家族写真のロケット 家族で撮った写真が収められている。		
背中			
右手	疾風の腕輪 紫色。敏捷度を増強	左手	栄冠の軍師徽章 鼓砲を3ランクから使用可能。
腰			
足			
その他	イグニスの楔 父からの戴き物。		

その他メモ	自動失敗
帝都ルキスラ出身のドレイク。剣の腕や軍師としての指揮の堅実さから、将来は両親譲りの強力な将になると言われた過去を持つ。	チェック
名譽人族であり、豪放な冒険者でもあった父の厳しい教えを受けつつ、順調に未来の閥将として成長していった……はずなのだが、幼いころにあった【大破滅(ディアボリック・カタストロフ)】がトラウマとなり、魔物に相対すると怯えが勝ってしまう、と言う大きな弱点を抱えてしまった。	□□□□⑤
父は彼女のそんな弱さを許さず(それではもしものときに危険である、といった親心もあっただろう)、彼女に「成人するか、剣のかけらを200個手に入れるまで帰らないこと。ただし、ニヶ月に一回は進捗を報告しに顔を見せること」と言う【クエスト】を掛け、かつて【ライロク魔術】を学んだ時の姉弟子であり、この問題を解決してくれそうなセシリアのもとへと彼女を送った。	□□□□⑩
エマ自身は魔物に怯えを持っていることを自覚しており、できれば魔物になど会いたくないが、身近な人を守る力が自分にはあるとも理解	□□□□⑮
	□□□□⑳
	□□□□㉑
	□□□□㉒
	□□□□㉓

